

氏名	所属	職名	学位			
長谷川千春	健康科学部 健康スポーツ科学科	助教	アーサー王文学修士			
資格						
第 187 回公開 TOEIC 925 点						
主な著書・原著論文						
年度	タイトル（出版元又は掲載誌）					
平成 22	ウォルター・スコット『アイヴァンホー』における騎士道精神の推移（英米文化 40 号）					
平成 23	イギリス騎士道の原形としての <i>Beowulf</i> （鶴見英語英米文学研究 12 号）					
平成 23	<i>Sir Gawain and the Green Knight</i> における誓約と名誉—騎士としての理想と人間的弱さ—(Tsurumi Review 41 号)					
平成 24	騎士道研究の射程と可能性: <i>The Study of Chivalry: Resources and Approaches</i> を読む（日本大学歯学部紀要 40 号）					
平成 27	'The Terms Chivalry in English and Bushi-do in Japanese: Linguistic Heritage as Implications of Differences in Cultural Norms' <i>Multilingual Perspectives in Geolinguistics: International Conference of the American Society of Geolinguistics in Honor of its 50th Anniversary</i> (Lulu Press)					
平成 28	Magic, Prophecy and Word Power: Merlin's Authoritative Voice in the Middle Ages (語学教育研究論叢 [大東文化大学外国語学部] 33 号)					
平成 29	『英米文学概論（含文学史）』授業評価アンケートに表れる学生の声：物語を通して伝わる知的好奇心と道徳観（教職課程センター紀要 [大東文化大学] 2 号）					
平成 30	『アーサー王の死』の著者サー・トマス・マロリーについて（国際アーサー王学会日本支部オフィシャルサイト「アーサー王伝説概説」）					
令和元	騎士社会からの逸脱と復帰：マロリーの「トリリストラムの物語」における狂気からの回復（大東文化大学紀要人文科学 第 56 号）					
令和元	騎士と宗教：西洋理想道徳の萌芽と形成（図書新聞 3453 号）					
令和元	ジェントルマンからサムライへ：日本武士道野球における英國騎士道（立命館言語文化研究 第 31 卷 1 号）					
令和 2	ガウェインと聖杯：マロリー『アーサー王の死』における信仰と反抗（中世英語英文学研究の多様性とその展望 春風社）					
所属学会						
英米文化学会、日本英文学会、日本中世英語英文学会、国際アーサー王学会日本支部						
主な社会的活動						
年度	活動内容					
平成 27	英米文化学会事務局員「現在に至る」					
平成 28	日本中世英語英文学会東支部会計監査「平成 30 年 3 月 31 日まで」					
平成 30	英米文化学会評議員「現在に至る」					
令和元	日本中世英語英文学会東支部幹事「令和 5 年 3 月 31 日まで」					
令和 2	日本中世英語英文学会東支部幹事 会計担当「令和 5 年 3 月 31 日まで」					
令和 3	国際アーサー王学会日本支部 web 委員「現在に至る」					